

(1) 単元名

提案文をかこう —— 事実と意見を結びつけて書こう ——

(2) 本単元についてのつまずき

「書くこと」のうち、自分の考えを書くことはできるが、考えを支える理由や事例を明確にしたり、目的に応じて情報を整理したりして書くことに課題がある。伝えたいことを明確にするとともに、文章を書く前に、読み手が考えを理解しやすいように、文章全体の構成や展開を考えたり、友達と共有する活動で構成を見直したりする時間を設ける。そうすることで、文章全体の筋道を整えることを意識して文章を書くことができるようつなげていく必要がある。

(3) 実態解消に向けた指導例

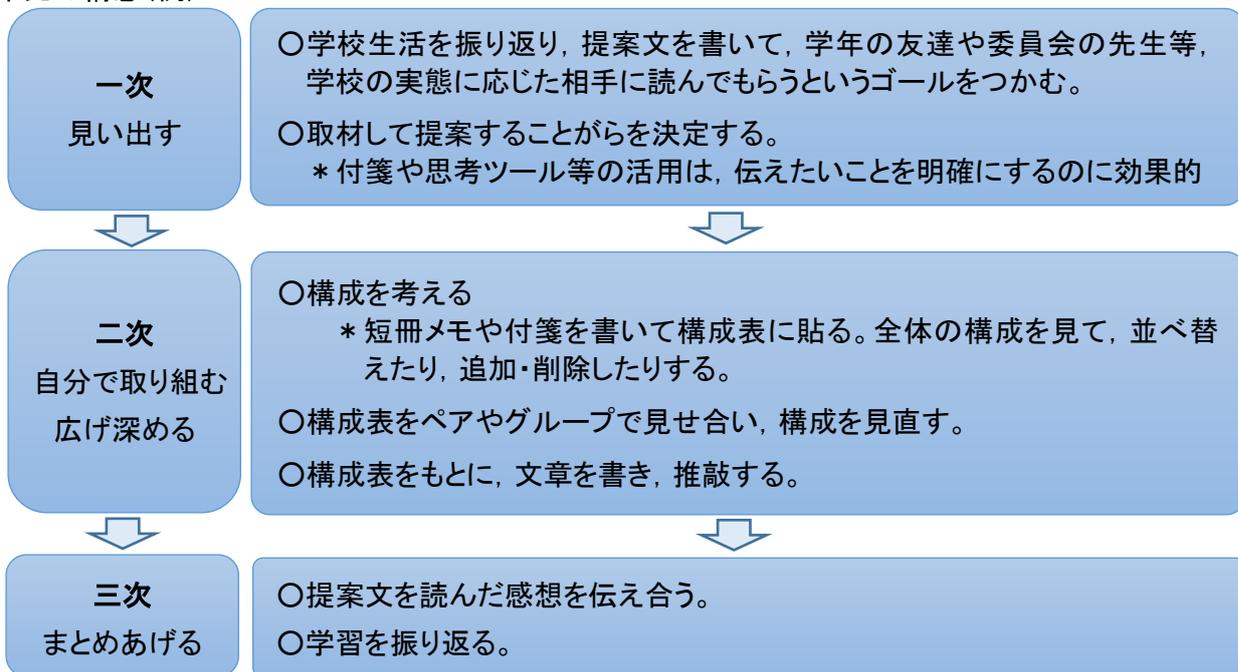
① 学習指導要領との関連

- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
(B 書くこと - イ 構成の検討)
- 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること
(B 書くこと - カ 共有)

② つけたい力に合った言語活動

身のまわりの生活から課題を見つけ、事実と意見を結びつけて提案文を書くこと

③ 単元の構想(例)



④ 指導のポイント!

文章を書きあげてから構成を見直すことは、児童の意欲がそがれたり、修正する負担が大きかったりする。そのため、構成の段階で、何度でも試行錯誤ができるようにすることが大切。短冊メモや付箋を活用することで、目的に合った情報を選び出したり、より伝わるような構成になるように並び替えたりすることが可能になる。

また、構成表の段階で、友達同士で見せ合う活動を取り入れると、構成を意識するきっかけとなる。